

お金を預ける前の、10の確認

SNSから始まる投資詐欺・ロマンス詐欺 セルフチェックシート

「絶対に儲かる」と言われてお金を預けてしまうことは、特別に不注意な方にだけ起きるものではありません。記録を見ると、慎重な方でも、時間をかけて信頼関係を作られたうえで、自分で納得して送金しています。だからこそ、人を見る目ではなく、**確かめる手順**で防ぐ必要があります。

01 この教材について

当相談所では、インターネット上で確認された投資詐欺・ロマンス詐欺の事例を継続して記録しています。読み返すと、手口そのものは次々に新しくなる一方で、被害に至る流れには **共通した「入口」と「行き止まり」**があることが分かります。このシートは、その共通点だけを抜き出し、お金を預ける前にご自身で確かめられる形にしたものです。専門知識は必要ありません。

使い方

- 1. **2・3ページ目**のチェック欄に、当てはまるものへ印を付けます。
- 2. 印が**1つでも付いたら**、そこで送金・入金をいったん止めます。判断を急がせてくる相手ほど、止める理由があります。
- 3. **4ページ目**の手順に沿って、身近な方か公的な窓口に話してください。ご自身で結論を出す必要はありません。

ご家族と一緒に読む使い方も想定しています。高齢のご家族へお渡しになる場合は、4ページ目の相談窓口の欄に ご家族ご自身の連絡先を書き添えていただくと役立ちます。自治体・学校・地域の講座などで、そのまま印刷・配布してご利用いただけます。

02 本シートのもとにした記録

当相談所がウェブサイトで公開している記事**221本**（2026年9月29日時点）が扱った、詐欺の疑いがあるサイトおよび勧誘手口の記述を対象に、共通して現れる要素を数えたものを根拠としています。内訳は次のとおりです。

分類	本数
投資詐欺（暗号資産・FX・未公開株など）	157
ロマンス詐欺（恋愛感情を利用するもの）	24
フィッシング詐欺	14
その他	17
副業詐欺	6

※ 1本の記事が複数の分類にまたがる場合があるため、合計は221本を上回ります。 ※ この数は**当相談所が記事にした本数**です。国内で実際に起きた被害の総数や、被害者を対象とした統計調査ではありません。手口の傾向をつかむための目安としてご覧ください。

どこから声がかかっているか

公開記事221本で、最初の接触に使われていた場所を数えると、次のように偏っています。「知らない人から突然」ではなく、**日常的に使っているアプリの中で始まっているのが特徴**です。

最初の接触・勧誘の場	該当本数
LINE（個別のやりとり・グループへの招待）	141
マッチングアプリ・出会い系サービス	61
著名人・有名投資家を名乗る人物からの接触	33
SNS広告・ネット広告	24
Facebook	15
Instagram	14
X（旧Twitter）	12
TikTok	5

※ 1本の記事で複数の場が扱われている例（例：SNSで知り合いLINEへ移る）があるため、合計は221本を上回ります。

入口のチェック — 当てはまるものに印を

- ☐ **SNSやアプリで知り合った相手から、LINEでのやりとりに移るよう促された**
記録の中で最も多い流れです。やりとりの記録が残りにくい場所へ移す目的があります。
- ☐ **投資の話をする「グループチャット」や「講座」に招待された**
参加者が利益報告で盛り上がっている場でも、その多くが同じ側の人である例が確認されています。
- ☐ **相手が、著名人・有名な投資家・金融機関の社員だと名乗っている**
実在する人物の氏名や写真が、本人に断りなく使われている例が確認されています。
- ☐ **実際に会ったことがない相手から、お金や投資の話が出た**
ロマンス詐欺では、送金の話が出るまでに数週間から数か月の会話を重ねる例があります。
- ☐ **広告や検索結果から入ったサイトで、すぐに登録・入金を求められた**
サイトの見た目の作り込みは、信頼できるかどうかの判断材料になりません。

印が付いても、まだ何も起きていない段階です

ここまでの5つは「入口」の特徴で、当てはまっただけでは被害ではありません。ただし、この先は**お金を預けたあとに引き返しくくなる流れ**が待っています。次のページで、その流れと、途中で気づける合図を確認してください。

お金が戻らなくなるまでの流れ

公開記事221本の多くが、同じ順序をたどっていました。重要なのは、画面の上では利益が出ているように見えている点です。数字が増えていくため、途中で疑うきっかけがつかみにくなっています。

01 少額から始まり、画面の上で増える

最初は数万円程度から。専用サイトやアプリに、利益が出ている数字が表示されます。少額の出金に応じる例もあります。

02 金額を増やすよう勧められる

「今が相場の好機」「上位のプランに移れば利率が上がる」といった形で、入金額の引き上げを促されます。

03 出金しようとする、応じてもらえなくなる

221本のうち**163本**で、出金の申請が通らない・拒まれるという記述が確認されました。最も共通した行き止まりです。

04 出金の条件として、さらに支払いを求められる

名目は「税金」145本、「保証金・証拠金」148本、「手数料」81本など。支払っても出金はされず、次の名目が続きます。

05 連絡が取れなくなる

アカウントが消える、サイトが閉じられる、担当者からの返信が止まる、という形で終わります。

「出金するために、もう一度払ってください」で止まってください

正規の金融機関や取引所が、出金の条件として税金や保証金を先に振り込ませることはありません。税金は利益を受け取ったあとに申告・納付するものです。この求めがあった時点でお金を動かすのをやめ、4ページ目の窓口にご相談ください。すでに支払ってしまった場合も、そこで止めれば被害はそこまで済みます。

手口のチェック — 当てはまるものに印を

☐ 出金しようとしたら、税金・保証金・手数料などの名目で先払いを求められた

最も多く確認された合図です。当てはまれば、それ以上お金を動かさないでください。

☐ 振込先が、会社名ではなく個人名の口座、または暗号資産のアドレスだった

暗号資産での送金を求める例が39本で確認されています。送金後に取り戻すことが難しくなります。

☐ 金融庁の登録を受けた業者かどうかを、自分で確かめていない

221本のうち87本で、登録のない業者である旨が確認されました。登録業者は金融庁のサイトで検索できます。

☐ 実在する会社名が使われているが、その会社の公式サイトから辿り着いたわけではない

実在企業の名称を無断で流用する例が22本で確認されています。社名は必ず公式サイト側から確認してください。

☐ 「今日まで」「あなただけ」と、考える時間を与えない言い方をされている

判断を急がせること自体が、確認されるのを避けるための手口です。

印が付いたときに、すること

- 01

お金を動かすのを止める
追加の入金・送金をしないでください。「あと一度払えば出金できる」という説明は、記録した事例では実現していません。
- 02

やりとりの記録を消さずに残す
メッセージ、振込の控え、サイトの画面、相手の名前やアカウント名。あとの相談で必要になります。画面を撮って保存しておくだけで十分です。
- 03

一人で結論を出さず、誰かに話す
ご家族・ご友人でも構いません。話しにくい場合は下の窓口へ。名前を言わずに相談することもできます。

「取り戻します」という新たな勧誘にご注意ください

被害に遭った方に対して「支払ったお金を取り戻せる」と持ちかけ、別の費用を請求する二次的な被害が確認されています。費用の話が先に出てくる相手には応じず、まず下記の公的な窓口で事実を伝えてください。

相談できるところ

窓口	連絡先	こんなときに
消費者ホットライン 消費者庁／全国の消費生活センター	188 いやや！	どこに相談すればよいかわからないときの、最初の窓口。お住まいの地域の消費生活センターにつながります。
警察相談専用電話 都道府県警察	#9110	被害に遭った、または遭いそうなとき。被害届の相談もこちらから。緊急の場合は110番。
金融サービス利用者相談室 金融庁	0570-016811	相手が登録された金融業者かどうかを確かめたいとき。登録業者の一覧は金融庁のサイトでも検索できます。
暮らしの相談所 非営利の任意団体（本シート作成者）	050-7110-5820	公的な窓口で話す前に整理したいとき、何から話せばよいかわからないときに。相談は無料です。
ご家族・身近な方 お渡しになる方がご記入ください		

※ 電話番号・受付時間は変わることがあります。各機関の公式サイトで最新の情報をご確認ください。

教材名	お金を預ける前の、10の確認 — SNSから始まる投資詐欺・ロマンス詐欺 セルフチェックシート
作成	暮らしの相談所（非営利の任意団体／2026年1月設立・代表 藤田 信行） 東京都千代田区神田三崎町
連絡先	info@kurashi-soudan.net / 050-7110-5820 / https://kurashi-soudan.net
版	第1版 2026年9月
根拠資料	当相談所がウェブサイトで公開している記事221本（2026年9月29日時点）が扱った、詐欺の疑いがあるサイトおよび勧誘手口の記述。件数は各記事中に該当する記述が確認できた本数であり、被害者を対象とした統計調査ではありません。記事はすべて https://kurashi-soudan.net/articles/ で確認できます。
利用について	教育・啓発を目的とする場合、出典を明記していただければ、そのまま印刷・配布・投影してご利用いただけます（無償）。改変を伴う二次利用をご希望の場合はご連絡ください。